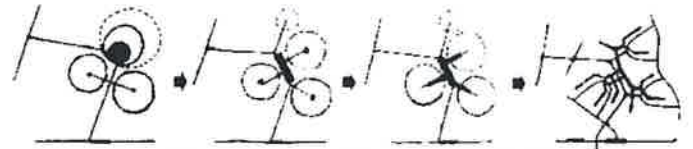


高蔵寺ニュータウンはどのように構想されたのか
～創成期プランナーの意思に想いを寄せて～



「高蔵寺ニュータウン計画/P77」（高山英華編/鹿島出版会/1967）

高蔵寺ニュータウンは、日本の近代都市計画黎明期のニュータウンであり、その構想・計画は、東京大学高山研究室を中心とする若き建築家・プランナーに委ねられました。そして、そのマスタープランチームは、まさに“ニュータウン道場”となり、その後の全国のニュータウン計画に大きな影響を与えるものになりました。

日本都市計画学会中部支部（地方まちづくり小委員会）では、我が国のニュータウン計画の原点になった高蔵寺ニュータウンを「都市計画遺産」として見つめなおし、人・計画・空間の視点からの保全活用の方向性について議論を開始いたしました。

そして、このたび、高蔵寺ニュータウンの当初マスタープランを担われた土肥博至先生、若林時郎先生を、あらためて高蔵寺ニュータウンにお招きすることになり、都市計画学会・UR 都市機構の共催にて、公開研究会（参加無料）を開催することになりました。

創成期の構想を先導された両先生の当時の想いにふれる本公開研究会は、ニュータウン計画の原点を知る貴重な機会になるとともに、研究、設計、まちづくり、プロジェクトに携わる者の姿勢・あり方を考える機会になるものと考えております。

年度末の大変お忙しい時期ですが、ぜひとも、ご参加賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■開催日時 平成 31 年 3 月 30 日（土曜日） 午後 1 時 30 分～午後 4 時

■プログラム ① 高蔵寺ニュータウンの構想・計画のプロセス・特徴について

② 対談 “若きプランナーが目指した日本のニュータウンの未来像”

登壇 土肥博至先生（筑波大学名誉教授）、若林時郎先生（元九州芸術工科大学教授）

※両先生は、1960 年代初頭 高蔵寺ニュータウン構想立案にご尽力されました。

③ 意見交換会

（同時開催）

○スケッチパネル展 3 月 30 日～31 日 午前 10 時～午後 4 時

東京大学工 14 号館図書室にて保管されていた

計画図面（複製）の一部を公開致します。

■開催場所 東部市民センター 多目的室

愛知県春日井市中央台 2-2

※スケッチパネル展のみ資料展示室（3 階）

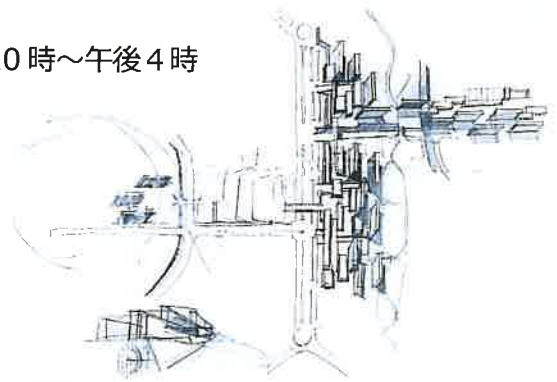
■申し込み方法 参加希望者は、E-MAIL にて、【KOZ 一般参加申込】と標記のうえ、

①氏名、②所属、③電話番号、④E-MAIL アドレス

をご記入のうえお申込みください。会場都合のため先着 80 名とさせていただきます。

E-MAIL アドレス cu0013@ur-net.go.jp

※同時開催のスケッチパネルは、開催時間中、入退場自由（申込不要、定員なし）です。



■主催 日本都市計画学会中部支部（地方まちづくり小委員会）、UR 都市機構（独立行政法人 都市再生機構）

■後援 愛知県、春日井市、高蔵寺まちづくり株式会社、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社（申請中）

■問い合わせ先 UR 都市機構 中部支社 都市再生業務部 担当：村田

住所 愛知県名古屋市中区錦 3-5-27 電話番号 052-968-3196